

	環境行動指針	担当課	目標	指標	最終目標	H26目標	H26上実績	H26実績	達成度	備考	基本方針	個別目標
重点プロジェクト1	○国の天然記念物に指定されている馬場大門のケヤキ並木を将来にわたり保護管理していきます。	ふるさと文化財課	巡回監視(並木の全樹木の生育状況調査及び危険木等の確認)と日常目視確認	春と秋の巡回監視	毎年2回	2回	1回	2回	目標どおり順調に進捗している	秋の巡回を10月に実施予定であったが、樹木の伐採等の関係で、12月に実施し、木の育成状況や不要木や危険木の点検をした。また、関係課と連携し、除去等を指導した。	基本方針1	緑の保全と活用
	○用水路は、ふるさとを感じさせる田園風景を構成する重要な要素であることから、地域の住民の協力を得て、公園や緑道などと一体となった利用のあり方を検討します。	公園緑地課	新水路の通年通水の検証	施設改良	毎年1か所	1か所	1か所	1か所	目標どおり順調に進捗している	緑道などの改修にともない、水の経路を整備を図ることで、通年通水の範囲の拡大に取り組んでいく。	基本方針1	水辺の保全と活用
	○里道の歩道化を検討するとともに、既存の緑道などと連結し、休憩場所などがある快適な歩道のネットワーク化を推進します。	公園緑地課	郷土の森周辺拠点から各駅を繋ぐ緑道などに案内標識や案内板を設置する。	案内標識・案内板設置及び改修件数	平成27年度以降は、里道等の快適な歩道化(検討)	9か所	0か所	9か所	目標どおり順調に進捗している	郷土の森公園を中心に各駅を結ぶ案内板の設置及び改修は、完了し、今後は、水と緑のネットワークを結ぶ、各緑道や遊歩道の案内板を改修していく。	基本方針1	緑の保全と活用
	○生産緑地を中心として、積極的に都市農地を保全します。	経済観光課(農業委員会)	農業経営改善事業補助金により、生産緑地等農地の保全協定を締結し、農地の保全を図る。生産緑地を見回り、営農態の確認をとる。	協定農地面積	平成34年度60,000㎡	63,000㎡	34,386㎡	59,693㎡	やや遅れが生じているが、概ね順調	生産緑地面積は、平成24年度現状値105.6ha、平成29年度目標値92.3ha(第6次総合計画指標)に対し、平成26年度実績値100.97ha	基本方針1	農地の保全
	○公園・緑地の拡充や農地の保全などオープンスペースを確保し、防災機能の強化を図ります。	公園緑地課	さくら公園拡張整備	整備計画検討	H27土地取得H28基本設計	1か所	1か所	1か所	目標どおり順調に進捗している	大規模な公園拡張として、四谷さくら公園において、基本計画の段階から市民参加による取組みを進め、地域特性を活かした市民による市民のための公園づくりを進めていく。	基本方針3	防災対策
	○公立小・中学校の校舎を対象に、施設内緑化(屋上緑化、ビオトープ整備など)や、みどりのカーテンの設置を推進します。	総務課	ビオトープが設置されている学校施設(十小、矢崎小、南白糸台小)で施設を管理し、活用を図る。希望する学校へ苗木を配布し、敷地内の緑化を推進する。	苗木を配布する学校数(東部)	平成27・29・31・33年度16校 平成28・30・32・34年度17校	17校	0校	0校	遅れが生じている。このままでは目標達成が難しい	植栽を増やすことで緑化管理が職員の負担となり、適正な樹木の管理に支障を起しているため、苗木配布を見直すため、別の目標を検討する。	基本方針4	地球温暖化対策
	○「(仮称)府中市生物多様性保全地域戦略」の策定を検討し、自然環境の保全や野生動植物の保護、外来種対策など、地域の特性に応じた生物多様性の保全に関する実践的な取組を促進します。	環境政策課	府中市における生物多様性の保全及び持続可能な利用の取組を推進するため、生物多様性地域戦略検討協議会を設置いたします。協議会を開催し年度末までに初期素案を策定します。	達成率	平成26年度策定済	100%	70%	100%	目標どおり順調に進捗している	協議会において、これまでに協議会4回、自然観察会2回、パブリックコメントなどを実施し、生物多様性の保全及び持続可能な利用に関する基本的な計画として、生物多様性地域戦略を策定した。	基本方針1	生物多様性の保全
	○生き物の生息状況及び生息環境の現状と経年変化を把握するため、市民団体やボランティア、教育・研究機関などと協力して、調査方法を検討し、定期的に生き物調査を実施します。	環境政策課	動植物の生息状況を把握し、自然環境への関心の向上を図ります。	生きもの調査の実施回数	毎年12回	12回	6回	12回	目標どおり順調に進捗している	自然環境調査員による、武蔵台公園にて自然環境の現状を把握するため、動植物の調査を実施	基本方針1	生物多様性の保全
	○東京都や関係機関と連携し、多摩川の水質浄化や流水量の確保、生態系の復活に向けた取組を推進します。	環境政策課	水質の汚染状況を継続的に監視し、環境基準の達成を目指します。	多摩川水質調査、湧水調査の実施回数	毎年14回	14回	7回	14回	目標どおり順調に進捗している	調査項目については、多摩川水系水質監視連絡協議会における他市の動向に注視し、適正な項目を選定すること。湧水流出量の確保に向けた施策を検討すること。	基本方針1	水辺の保全と活用
	○用水路の活用にあたっては、まちに潤いをもたらす環境用水として位置付け、通年通水を目指し多様な生物がすめる水辺づくり、景観の保全、親水性の向上に配慮した整備を検討します。	公園緑地課	親水路の通年通水の検証	施設改良	毎年1か所	1か所	1か所	1か所	目標どおり順調に進捗している	通年通水(環境用水)の取組みを進め、範囲を拡張するとともに、施設の整備を進めていくことにより、水を中心とした生物の活動範囲を広げ、生物多様性の取組に繋げていく。	基本方針1	水辺の保全と活用

第2次環境基本計画環境マネジメントプログラム(環境行動指針)

	環境行動指針	担当課	目標	指標	最終目標	H26目標	H26上実績	H26実績	達成度	備考	基本方針	個別目標	
11	○府中の名木百選に選定された名木や保存樹木に指定された樹木について、市及び市民が協力して保全、維持管理する新たな仕組みを検討します。	環境政策課	現状の把握に努める中で、樹木の適正な維持管理をしていく。	保存樹木の指定	平成34年度に2,000本を維持	2,000 本	2,000 本	2,127 本	目標どおり順調に進捗している	今後において、現状把握に努めるとともに、樹木の適正な管理のあり方について、検討する必要がある。維持管理することが難しい樹木が増えており、適正に管理するためにも剪定の一部を助成する制度の検討が必要である。	基本方針1	緑の保全と活用	
12	○樹林地について、保存樹林制度や市民緑地制度等により積極的な保全と活用を検討します。	環境政策課	保存樹林の現状把握と保存樹林の適正な維持管理に努めます。	保存樹林の指定	平成34年度に984㎡を維持	984 ㎡	984 ㎡	984 ㎡	目標どおり順調に進捗している	民間地の緑を確保することが難しくなっており、地域にある貴重な緑として維持できるよう事業を継続する必要がある一方、近隣トラブルが発生していることもある。このことから、現状の把握に努める中で、樹木の適正な維持管理のあり方について検討する必要がある。	基本方針1	緑の保全と活用	
13	○開発事業が行われる際には、開発事業者との協議により、既存の緑地の保全を誘導します。	公園緑地課	まちづくり条例に基づいた緑地の確保	既存の緑地確保	毎年1か所	1 か所	1 か所	1 か所	目標どおり順調に進捗している	地域の特性を活かした、樹種の選定や補植を行い、周辺環境との調和を図ることで、緑の連続性を進めていく。	基本方針1	緑の保全と活用	
14	○市が中心となって、所有者や隣接する商店街、自治会など市民との協働で行うけやきの管理体制を構築します。	管理課	けやき並木通りの清掃について、インフラ管理ボランティア制度の活用を促していく。	申請数	毎年5団体	5 団体	1 団体	1 団体	目標どおり順調に進捗している	けやき並木通りの清掃は、周辺住民や店舗事業者により適宜行われているが、府中まちなかきさら(インフラ管理ボランティア制度)は、けやき並木周辺住民にあまり認識されておらず、多数の申請登録には至っていない。今後も広報等で積極的に周知していく。	基本方針1	緑の保全と活用	
15	○府中崖線の保全とともに、崖線と調和した土地利用を進めます。	公園緑地課	巨大化及び枯れによる樹木を選定基準に基づき、計画的な剪定を実施し、樹木の再生を図る。	枯損木の撤去及び植樹	毎年1か所 平成31年度で終了	1 か所	1 か所	1 か所	遅れが生じている。このままでは目標達成が難しい。	※樹木の枯損が進んでいるため	基本方針3	適切な土地利用の推進	
16	○浅間山周辺については、浅間山と調和したまち並みを形成し、環境や景観に配慮した快適なまちづくりを進めていくよう、適切な土地利用を誘導します。	計画課	景観行為の届出対象物件について、事業者と協議を行う。	届出件数	毎年1件	1 件	0 件	0 件	遅れが生じている。このままでは目標達成が難しい。	※浅間山周辺での景観行為の届出対象物件がないため	基本方針3	適切な土地利用の推進	
17	○景観形成の目標及び方針を実現するため、景観協定、まちづくり誘導地区、地区計画などの活用を検討します。	計画課	開発事業等において景観協定を締結する面積を増加する。	景観協定面積	平成34年度5,000㎡	5,000 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	遅れが生じている。このままでは目標達成が難しい。	※景観協定については、1件調整中	基本方針3	景観の保全	
重点プロジェクト2	18	○公共施設に、太陽光発電システムや太陽熱利用システムなどを積極的に導入します。	建築施設課	太陽光発電設備を対象とした施設は、100%実行する。	達成率	毎年、対象とした施設について100%実施する	100 %	100 %	100 %	目標どおり順調に進捗している	年間を通して太陽光発電設備を対象とした施設が無かった。	基本方針4	地球温暖化対策
	19	○公共施設にLED照明を積極的に導入します。	建築施設課	LED照明を対象とした施設は、100%実行する。	達成率	毎年、対象とした施設について100%実施する	100 %	100 %	100 %	目標どおり順調に進捗している	年間を通じて、工事施行依頼書による依頼件数は、「市営第八新町住宅外壁等改修工事」ほか3件があり、LED照明を211台設置した。 実績率 依頼4件/実施4件=100%	基本方針4	地球温暖化対策
	20	○カーボンオフセットなどの地域の枠を超えた取組を推進します。	環境政策課	カーボンオフセット事業を継続し、二酸化炭素吸収量の増加を図ります。	森林整備実施面積	毎年約20ha	20 ha	0 ha	19.71 ha	目標どおり順調に進捗している	平成27年度で第1期の協定期間が終了するため、第2期の運用に向けた協議を進める。	基本方針4	地球温暖化対策
	21	○自転車駐車場の適切な配置の推進や、自転車の共同利用に関する検討を行うとともに、歩行者の安全を守りつつ、自転車を利用しやすい環境(広い歩道等)の整備を図りながら、積極的に自転車等の利用を促進します。	地域安全対策課	放置自転車の撤去強化	達成率	毎年100%	100 %	100 %	100 %	目標どおり順調に進捗している	自転車駐車場の管理運営を適切に行い、また、放置自転車の撤去を継続的に行うことにより、着実に自転車を利用しやすい環境を醸成している。	基本方針4	地球温暖化対策

第2次環境基本計画環境マネジメントプログラム(環境行動指針)

	環境行動指針	担当課	目標	指標	最終目標	H26目標	H26上実績	H26実績	達成度	備考	基本方針	個別目標	
	22	○食材を多く買すぎない、食べ残しをしない、生ごみは一絞りにして水分を取るなど、自ら実践できる方法を、ごみ広報紙「府中のごみ」などを通じてPRしていきます。	ごみ減量推進課	市民に府中市のごみの現状・ごみ減量・分別について広報、ごみ新聞等で周知する。	1人1日あたりのごみ量	平成34年度 1人1日あたり のごみ量532.5 g	632.5 g	638 g	628 g	目標どおり順調に進捗している	ごみ新聞やイベント等で、ごみ減量の啓発を行った結果、順調に1人1日あたりのごみ量は減少してきている。今後は、3Rの推進を図り、更なるごみ減量に努めていきたい。	基本方針 4	リサイクル・ごみ減量化の推進
	23	○マイバッグを持参しない無関心層を取り込むため、市民団体や販売店、商店街などと連携し、単にごみ減量の観点だけでなく、デザインや機能性など様々な視点からマイバッグの持参やレジ袋の削減を呼びかけます。	ごみ減量推進課	マイバッグの持参率を2%上げる。	スーパー店頭で行っているマイバッグ持参率	平成34年度 持参率74%	58 %	60.07 %	71.8 %	目標どおり順調に進捗している	マイバッグを利用している男性や複数のマイバッグを利用する市民も見受けられるようになってきた。	基本方針 4	リサイクル・ごみ減量化の推進
	24	○市内で食の資源循環を行うため、給食残さの一部を堆肥化し、市内農家などで活用する実験を行います。	ごみ減量推進課	平成26年度でモデル事業が終了するため、平成27年度以降の展望について検討する。	生産堆肥量	平成26年度で 事業終了	400 kg	118.2 kg	326.5 kg	やや遅れが生じているが、概ね順調	「モデル事業終了後の在り方に関する提言書」を、委員長より市長に提出した。また、モデル事業最終報告書を作成した。今後開催される委員会の承認を持って、モデル事業は終了となる。	基本方針 4	ごみの適正処理の推進
	25	○ごみ減量・リサイクルを推進する販売店などの取組や成果を公表・チェックするなどの仕組みづくりを検討します。	ごみ減量推進課	スーパー等の資源物店舗回収状況調査を行い実態を把握する。	達成率	平成27年度以降は新規店舗数が毎年5店	100 %	100 %	100 %	目標どおり順調に進捗している	スーパーを中心に資源回収の自主的な取組について調査リストアップを行ったので、広報・ホームページで周知を図る。スーパー以外の事業者の取組についても、調査するとともに未実施事業者に対して店頭回収の働きかけを行う。	基本方針 4	リサイクル・ごみ減量化の推進
重点プロジェクト3	26	○小学生とその保護者を対象に、多摩川河川敷で生き物とふれあい、水辺での遊びを通じて親子で環境を学ぶ機会を提供する、「府中水辺の楽校」の開催を継続的に支援します。	環境政策課	府中水辺の楽校運営協議会の実施、水辺の楽校の実施	水辺の楽校参加者数(児童・保護者)	毎年2,000人	2,000人	848人	1,615人	目標どおり順調に進捗している	身近な自然である多摩川において、水辺を活用した自然環境学習や体験活動を実施し、また、小学校での総合学習の時間に対する支援を行った。	基本方針 1	水辺の保全と活用
	27	○資料提供や人材派遣などの支援を行うほか、防災とまちづくりに関するセミナーやワークショップ、まちづくりリーダーの養成講座などを開催します。	防災危機管理課	防災活動を行う自治会や町会等を対象とした「防災研修会」を実施する。	防災研修会の実施	毎年1回	1回	0回	1回	目標どおり順調に進捗している	予定どおり実施	基本方針 3	防災対策
	28	○市民向けに府中市の歴史読本を発行するとともに、歴史講座を開講し、府中市の歴史と文化の普及・啓発に努めます。	ふるさと文化財課	歴史講座を開講し、府中市の歴史と文化を普及・啓発する。	歴史講座の回数	毎年6回	6回	2回	6回	目標どおり順調に進捗している	目標どおり6回の講座を実施し、参加者には非常に好評であった。	基本方針 3	歴史的・文化的環境の保全
	29	○広く市民を対象とする環境に関する各種講座やイベントなどにより環境学習の普及啓発を推進します。	環境政策課	環境学習講座の年10回開催を目指します。	環境学習講座の実施回数	毎年10回	10回	4回	10回	目標どおり順調に進捗している	2事業が雨天中止となったため実施回数は8回であるが、目標どおり10回の計画が立てられた。迅速な対応により、混乱なく中止対応が図られたと思われる。	基本方針 5	地域の環境保全活動の推進
	30	○自然観察会や農業体験、野外体験学習など自然とふれあえる体験学習を推進します。	環境政策課	自然との触れ合いの場を提供し、心身の健やかな成長と環境への関心の向上を図ります。	田んぼの学校の開催回数	毎年5回	5回	3回	5回	目標どおり順調に進捗している	鳥の被害などにより稲の成長が心配されたが、無事に収穫祭を迎えることができた。本事業以外にも、自然との触れ合いの場の提供をしてもらいたい。	基本方針 5	地域の環境保全活動の推進
	31	○市民参加で自然環境調査や生活環境調査を実施し、調査結果を蓄積するとともに環境学習などに活用します。	環境政策課	動植物の生育状況を通じて、動植物を取り巻く環境の変化を学ぶとともに、自然環境への関心の向上を図ります。	動植物観察調査の開催回数	毎年25回	25回	13回	25回	目標どおり順調に進捗している	継続して調査を実施し、状況把握に努めるとともに、結果を市民に公表する。	基本方針 5	地域の環境保全活動の推進
32	○環境保全活動を行う市民ボランティアを養成し、支援するとともに、環境保全活動のグループづくりなどを支援します。	環境政策課	環境保全活動センターの役割、活動内容を精査し、機能拡充に努めます。また、情報収集・発信、相談を通じて、環境保全活動センターの認知度向上を目指します。	環境保全活動センターサポーターの登録人数	平成34年度までに100人	74人	71人	71人	やや遅れが生じているが、概ね順調	積極的な環境情報の収集・発信を行い、サポーターの増加に努める。	基本方針 5	地域の環境保全活動の推進	

第2次環境基本計画環境マネジメントプログラム(環境行動指針)

	環境行動指針	担当課	目標	指標	最終目標	H26目標	H26上実績	H26実績	達成度	備考	基本方針	個別目標
33	○環境学習のリーダーを育成します。	環境政策課	かんきょう塾の年6回開催を目指します。	かんきょう塾の実施回数	毎年6回	6回	4回	6回	目標どおり順調に進捗している	講座内容の選定にあたっては、他課の事業等を確認する。	基本方針5	地域の環境保全活動の推進
34	○エコ・リーダーの育成等を推進し、市民・事業者・府中市のパートナーシップによる環境保全や環境学習への取組を推進します。	環境政策課	かんきょう塾の年6回開催を目指します。	かんきょう塾の実施回数	毎年6回	6回	4回	6回	目標どおり順調に進捗している	講座内容の選定にあたっては、他課の事業等を確認する。	基本方針5	地域の環境保全活動の推進
35	○地域ごとに市民の手による緑化を先導する中核的なリーダーを発掘・育成するため、リーダー育成講習会や各種講座を開催します。	環境政策課	市内の自然環境を保全するにあたり、市内の動植物の生息状況その他の自然環境の調査を行う市民等の活動を支援する。	自然観察会や学習会の開催(参加人数)	毎年50人	50人	25人	106人	目標どおり順調に進捗している	自然環境調査員が身近な自然を紹介するような様々なイベントや企画をすることで、より多くの市民が自然に対する興味や関心を持ってくれるようになった。特に学習会の参加人数が増加した。	基本方針5	地域の環境保全活動の推進
36	○府中市環境保全活動センターを活用し、グループによる環境保全活動のPRや情報提供を行うとともに、相互の交流を推進します。	環境政策課	情報収集・発信、相談を通じて、環境保全活動センターのサポーターの増員と認知度向上を目指します。	環境保全活動センターサポーターの登録人数	平成34年度までに100人	74人	71人	71人	やや遅れが生じているが、概ね順調	積極的な環境情報の収集・発信を行い、サポーターの増加に努める。	基本方針5	地域の環境保全活動の推進
37	○府中市環境保全活動センターを活用し、市民や事業者へ環境情報の提供や市民や事業者からの環境情報の収集を行います。	環境政策課	「かんきょう活動センターだより」やホームページを活用し、環境情報の収集・発信に努めます。	「かんきょう活動センターだより」の発行回数	毎年4回	4回	2回	4回	目標どおり順調に進捗している	ホームページについて、他課の実施する環境関連事業についても情報収集し、掲載されたが、サポーターへのメール配信についても検討する。	基本方針5	市民・事業者・行政の連携
38	○学校施設については、子どもたちが自然とふれあう機会を増やすとともに、粉じんの抑制やヒートアイランド現象の緩和などの環境対策や校庭開放による地域コミュニティ活動の促進を図るため、校庭の芝生化を計画的に進めます。	総務課	校庭芝生化が完了した学校において、維持管理を施設利用者や地域の方と協働で進めていく。	維持管理の校数	毎年8校	8校	8校	8校	目標どおり順調に進捗している	学校の芝生状況を把握し、適切に管理できている。	基本方針1	緑の保全と活用
39	○公立小・中学校を対象に、太陽光発電システムや太陽熱利用システムを建替え及び大規模改修等の際に導入します。	総務課	小・中学校の建替え及び大規模改修等に併せ、太陽光発電システムや太陽熱利用システムを導入する。	導入する校数	建替え及び大規模修繕等の際に導入	0校	0校	0校	目標どおり順調に進捗している	建替え及び大規模改修があった場合に導入するため平成26年度については0校	基本方針4	地球温暖化対策
40	○導入に当たっては、生徒の学習効果を高めるため、発電量の見える化を図ることや、太陽光発電システム等の原理・構造などを紹介した学習教材を整備します。	総務課	小・中学校の建替え及び大規模改修等に併せ、太陽光発電システムや太陽熱利用システムを導入した学校に発電量などを表示する。	導入する校数	建替え及び大規模修繕等の際に導入	0校	0校	0校	目標どおり順調に進捗している	建替え及び大規模改修があった場合に導入するため平成26年度については0校	基本方針4	地球温暖化対策
41	○公立小・中学校の敷地内に、雨水の貯水タンクや貯水槽を設置し、雨水利用による省資源対策を推進します。	総務課	小・中学校の建替え及び大規模改修に併せ、雨水利用施設を設置する。	設置する校数	建替え及び大規模修繕等の際に導入	0校	0校	0校	目標どおり順調に進捗している	建替え及び大規模改修があった場合に導入するため平成26年度については0校	基本方針4	地球温暖化対策